



---

## 「デコ活」～暮らしの中のエコろがけ～

# 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

---

地球環境局 デコ活応援隊（脱炭素ライフスタイル推進室）

令和6年4月



# 「デコ活」(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)とは

○ 脱炭素につながる**新しい豊かな暮らし**の実現に向けた国民のみなさまの行動変容・ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信します。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO<sub>2</sub>削減が求められます。



しかし、国民のみなさまの行動に具体的に結びついていない状況です。



1 例えば10年後など、脱炭素につながる**将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿**をお示しします。



2 国、自治体、企業、団体等で共に、**国民のみなさまの新しい暮らしを後押し**します。



国際的 (G7・G20等) にも

- ・ 我が国から**製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイル**の提案・発信
- ・ **官民連携によるライフスタイル・イノベーション**の国際協調を提案・発信



**国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出**を促します。

# 【参考】デコ活の背景（1/2）

○脱炭素の実現に向けては、2030年家庭66%、運輸35%、非エネ14%、業務51%削減など、暮らし・ライフスタイルの分野でも大幅な削減が求められます。

## 地球温暖化対策計画（令和3年）の概要

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位：億t-CO <sub>2</sub> )		2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
		14.08	7.60	▲46%	▲26%
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		12.35	6.77	▲45%	▲25%
部門別	産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
	業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
	家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
	運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
	エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、メタン、N <sub>2</sub> O		1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス（フロン類）		0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源		-	▲0.48	-	(▲0.37億t-CO <sub>2</sub> )
二国間クレジット制度（JCM）		官民連携で2030年度までの累積で1億t-CO <sub>2</sub> 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			-

出典：地球温暖化対策計画 概要

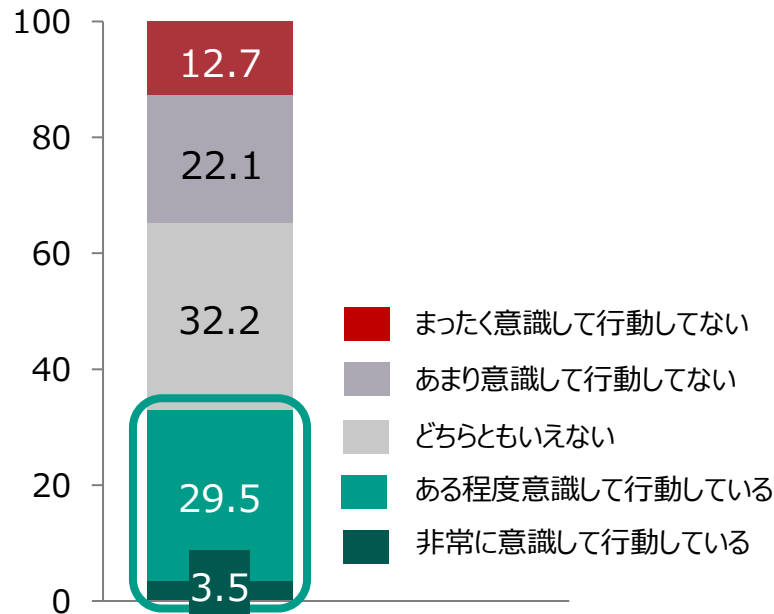
# 【参考】デコ活の背景 (2/2)

○9割の方々が脱炭素という用語を認知している一方、そのために何をしたらよいか分からないなど、具体的な行動に結びついていない状況にあります。

「脱炭素」という言葉を知っている人は90.8%、行動に移している人は33.1%

脱炭素について若年層では、「よくわからない」、「意識・貢献できる瞬間がない」と回答した人が約6割

どの程度脱炭素社会に向けた行動をしているか (%)



脱炭素社会の実現に向けて取り組むことについて、正直どのように思うか (とてもそう思う+そう思う) (10代~20代の回答)

回答内容	割合 (%)
正直、よくわからないので、やるべきことを決めてくれたら従う	59.4
正直、意識・貢献できる具体的な瞬間がない	58.5
正直、自分一人でやっても変わらない	56.9
正直、取り組むモチベーションが続かない	50.2

出典: 博報堂「第二回 生活者の脱炭素意識&アクション調査」~2022年3月調査結果~

# デコ活の全体像（脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの絵姿）

○ 今から約10年後、**生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康**で、そして2030年温室効果ガス削減目標も同時に達成する「新しい豊かな暮らし」を提案をします。



※新しい暮らしの根拠や数値のバックデータは、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>から確認を。



# デコ活の内容

○国、企業、自治体、団体、個人等の主体が、国民のみなさまの新しい暮らしを後押しします。

デジタルも駆使して、多様で  
快適な **働き方、暮らし方**  
を後押し（テレワーク、地方移住、  
ワーケーションなど）



1

脱炭素につながる新たな暮らし  
を支える **製品・サービス**を  
提供・提案



2

**インセンティブ** や効果的な  
情報発信（気づき、ナッジ）を  
通じた行動変容の後押し  
（消費者からの発信も含め）



3

**地域** 独自の（気候、文化等  
に応じた）暮らし方の提案、  
支援



4



脱炭素につながる新たな豊かな  
暮らしの全体像を**知り、触れ、  
体験・体感**してもらう様々な  
**機会・場（応援拠点）**を  
**アナログ・デジタル**問わず提供

地域・全国へ展開

# 新国民運動の愛称 = 「デコ活」



上白石  
萌音  
さん

サンドウィッチマン  
伊達  
みさお  
さん

富澤  
たけし  
さん

俵  
万智  
さん

小池  
都知事

デコ活

西村  
環境大臣(当時)

十倉  
経団連会長

道場  
六三郎  
さん

高橋  
尚子  
さん

榎  
太一  
さん

足立  
梨花  
さん

田牧  
そら  
さん

## 愛称

国民に広く公募し（8,200件の応募）、愛称公募選定会議で「デコ活」※に決定（生みの親↑）  
 ※二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を減らす(DE)脱炭素(Decarbonization)と環境に良いエコ(Eco)を含む"デコ"と活動・生活を組み合わせた新しい言葉

### ◆ ロゴ・メッセージ・アクション



◆ “くらしの10年ロードマップ”を策定  
 進捗フォローアップを行い計画的に実行

### デコ活アクション まずはここから

- デ** 電気も省エネ 断熱住宅
- コ** こだわる楽しさ エコグッズ
- カ** 感謝の心 食べ残しゼロ
- ツ** つながるオフィス テレワーク

普及浸透  
↓  
実践

➔ 1,200以上の企業・自治体・団体等と協力し、国民・消費者の行動変容、  
 ライフスタイル転換を後押しし、**脱炭素製品・サービス等の需要を強力に創出**

# くらしの10年ロードマップ（概要）

○初めて**国民・消費者目線**で、**脱炭素につながる豊かな暮らしの道筋**（課題と仕掛け）を**全領域**（衣食住・職・移動・買物）で明らかにし**官民連携**により行動変容・ライフスタイル転換を促進

## 国民にとっての**ボトルネック**

意欲

導入メリット・意義が不明  
昔のイメージのまま敬遠  
手間・難しさの忌避感  
問題への理解・関心不足

実践

初期費用・大規模支出  
導入に時間がかかる  
機会・情報が限定・不十分  
慣習・制度が実践を妨ぐ

## 課題解消に向けた**仕掛け**（主な対策）

	2024~2026	2027~2029	2030~
メリット・意義、最新情報を導入機会と同時に伝達（商業・公共施設等を体験・体感の場に）			
新築/既存住宅リフォーム+太陽光発電設備・高効率給湯器等のパッケージ化			<b>住</b>
商品・ブランド別のエシカル度の見える化			<b>衣</b>
サステナブルツアー（出張・旅行等）、カーボンオフセット付き旅行保険等			<b>移</b>
科学的情報等を行動とセットで提供（DXを活用したワクワク感、楽しさなどの動機付け）			<b>基盤</b>
サブスクリプション型サービスやPPA・リース、環境配慮型ローン等の提供拡大			
公的支援情報を分かりやすく提供し、複数補助制度の一括申請の受付を拡大			<b>住</b>
通常リフォームに合わせた+aの断熱、家電販売時の省エネ・再エネのパッケージ提案			<b>住</b>
リペア、アップサイクル・染め直し等、衣類の交換会、回収リサイクルの場の拡大			<b>衣</b>
フードシェアリング、フードドライブ・フードバンク活動、エシカル商品サービス等の拡大			<b>買・食</b>
テレワークとマッチするよう必要に応じてルール見直し、必要なサービス・インフラ・情報提供			<b>職</b>
データ活用した行動見える化、デマンドレスポンス、住民・従業員へのインセンティブ拡大			<b>基盤</b>
費用対効果に優れた気付き・ナッジの提供			<b>基盤</b>

行動制約

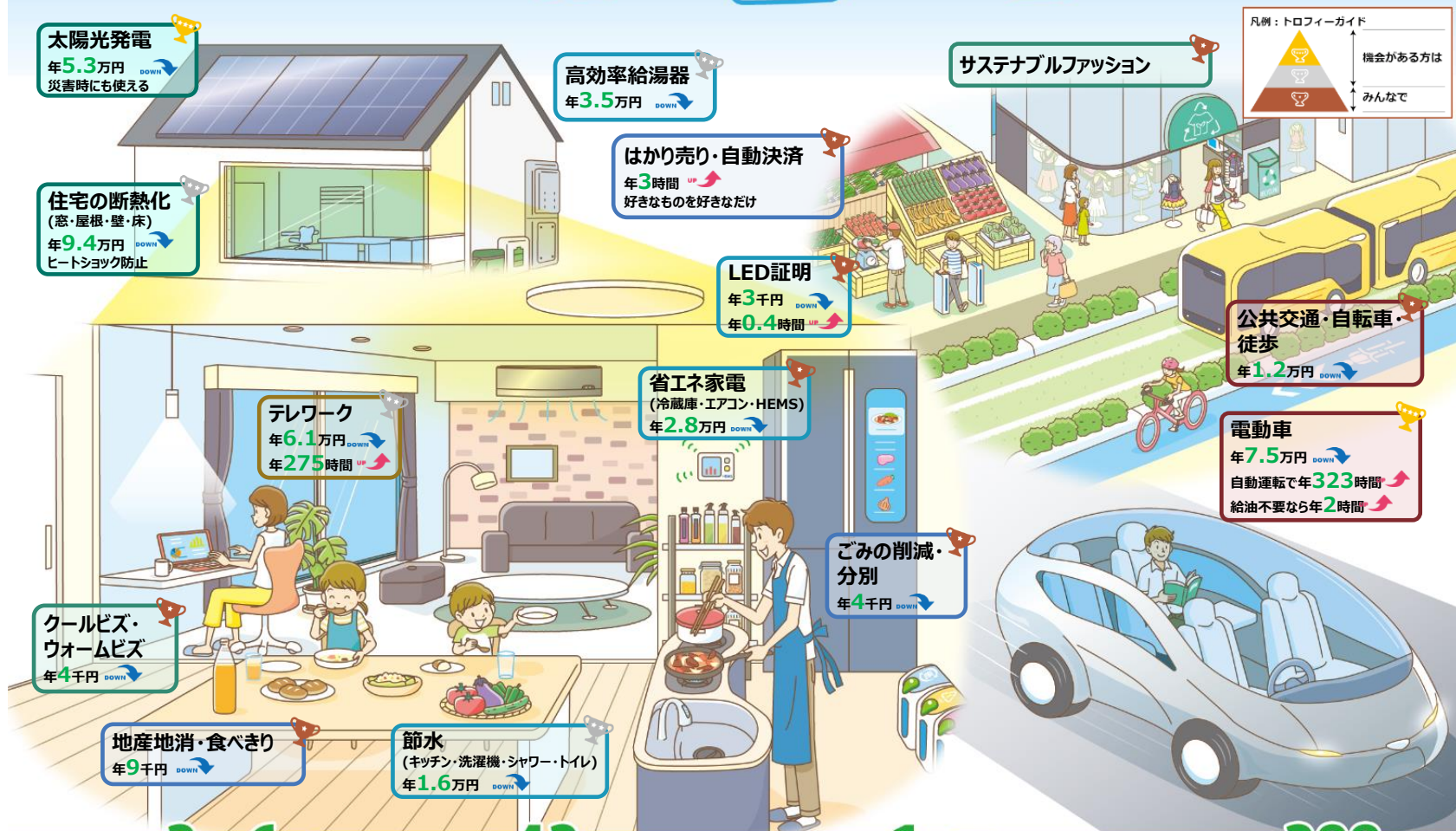
行動変容・ライフスタイル転換



# ロードマップのスコープ（暮らし全領域を大きく7分野に）

- 1 住[外] 住宅の省エネ化・再エネ導入 (断熱化、太陽光発電 等)
- 2 住[内] エコグッズの選択 (LED、家電、給湯、節水 等)
- 3 衣 クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションの実践
- 4 買・食 地産地消、適量購入・食べきりごみの削減・分別
- 5 職 テレワークの実践
- 6 移 電動車の購入 環境負荷がより少ない移動手段の選択
- 7 基盤 情報 (教育・ナッジ) インセンティブ

## 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後



毎月3万6千円浮きます (年43万円)

一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)

# 「デコ活アクション」について

分類		アクション
まずはここから	住 デ	<b>電気も省エネ 断熱住宅</b> (電気代をおさえる断熱省エネ住宅に住む)
	住 コ	<b>こだわる楽しさ エコグッズ</b> (LED・省エネ家電などを選ぶ)
	食 カ	<b>感謝の心 食べ残しゼロ</b> (食品の食べ切り、食材の使い切り)
	職 ツ	<b>つながるオフィス テレワーク</b> (どこでもつながれば、そこが仕事場に)
ひとりでのCO2が下がる	住	高効率の給湯器、節水できる機器を選ぶ
	移	環境にやさしい次世代自動車を選ぶ
	住	太陽光発電など、再生可能エネルギーを取り入れる
みんなで実践	衣	クールビズ・ウォームビズ、サステナブルファッションに取り組む
	住	ごみはできるだけ減らし、資源としてきちんと分別・再利用する
	食	地元産の旬の食材を積極的に選ぶ
	移	できるだけ公共交通・自転車・徒歩で移動する
	買	はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う
	住	宅配便は一度で受け取る

※デコ活アクションの詳細については、<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/action/>から確認を。

# デコ活を冠した組織・制度・予算について

○関連する組織・制度・予算に「デコ活」を冠した愛称を付け、ワンメッセージで「デコ活」の普及を後押しします。

組織・制度・予算	愛称
環境省 脱炭素ライフスタイル推進室	デコ活応援隊
新国民運動・官民連携協議会	デコ活応援団
豊かな暮らしを後押しする関連予算すべて	デコ活予算
全国地球温暖化防止活動推進センター	デコ活ジャパン
地域地球温暖化防止活動推進センター	デコ活ローカル
地球温暖化防止活動推進員	デコ活推進員

## 一般会計、エネルギー対策特別会計におけるデコ活関係予算の合計 2,940億円（令和5年度補正予算及び令和6年度当初予算）

- ・「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業：43億円
- ・食品ロス削減、サステナブル・ファッション等の推進及び「デコ活」を契機としたライフスタイル変革推進事業：5.7億円
- ・断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO<sub>2</sub>加速化支援：1,350億円
- ・商用車の電動化促進事業：409億円 など

※デコ活関係予算の詳細については、<https://www.env.go.jp/content/000184004.pdf>から確認を。



# 【参考】「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業



## 「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）推進事業



【令和6年度予算(案) 3,763百万円(新規)】

【令和5年度補正予算額 500百万円】

デコ活の推進を通じて、「新しい豊かな暮らし」とその先にある「脱炭素目標の達成」を実現します。

### 1. 事業目的

「デコ活」（新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の推進を通じて、2030年度に2013年度比46%（特に家庭部門では66%）削減及び2050年カーボンニュートラルを実現することを目的とする。このために、「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを社会実装するためのプロジェクトの展開、地球温暖化対策推進法に基づく普及啓発推進、ナッジ×デジタルによるライフスタイル転換促進の実証等を実施する。

### 2. 事業内容

#### (1) デコ活推進に係る社会実装型取組等支援

デコ活の推進のためのプラットフォームであるデコ活応援団（官民連携協議会）を運営し、自治体・企業・団体・消費者等と連携を図りながら、デコ活を国民運動として推進する。また、マッチングファンド方式により、民間の資金やアイデア等を動員し、「新しい豊かな暮らし」を支える製品・サービスを効果的・効率的に社会に実装するためのプロジェクトを実施する。

#### (2) 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく普及啓発推進

温対法第39条及び第38条に基づき、全国地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ジャパン）及び地域地球温暖化防止活動推進センター（デコ活ローカル）によって、地域でのデコ活を図るため、調査・情報収集・普及啓発・広報等を実施する。

#### (3) ナッジ×デジタルによる脱炭素型ライフスタイル転換促進

デジタル技術により脱炭素につながる行動履歴を記録・見える化し、地域で循環するインセンティブを付与する等、日常生活の様々な場面での行動変容をBI-Tech\*で後押しするための国民参加体験型のモデルを実証し、構築する。

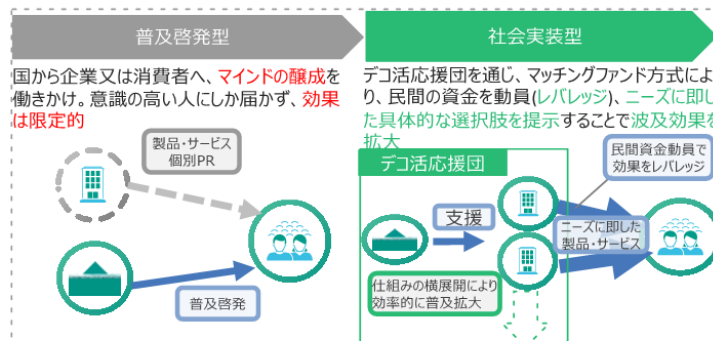
\*行動科学の知見（Behavioral Insights）とAI/IoT等の先端技術（Tech）の組合せ

### 3. 事業スキーム

- 事業形態 (1)委託事業・間接補助事業（補助率 定額（1/3相当））(2)委託事業・間接補助事業（補助率 7/10）(3)委託事業
- 委託先等 委託事業：民間事業者・団体等、補助事業：地方公共団体、民間事業者・団体等
- 実施期間 (1) 令和6年度～令和12年度 (2) 令和6年度～ (3) 令和6年度～令和8年度

### 4. 事業イメージ

従来の「普及啓発型」から、自治体・企業・団体等と連携して、消費者の行動変容を図る「社会実装型」の取組中心へとシフト



官民連携の下、衣食住/移動/買い物など、暮らしのあらゆる領域において「脱炭素につながる新しい豊かな暮らし」を強力に後押し

お問合せ先： 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 脱炭素ライフスタイル推進室（デコ活応援団） 電話：03-5521-8341






# デコ活応援団（新国民運動官民連携協議会）

○官民連携で効果的な実施につなげるため、国、自治体、企業、団体、消費者等による官民連携協議会（プラットフォーム）を、新国民運動と同時に立ち上げ、一体的な展開を図っています。

## デコ活応援団（官民連携協議会）



## 参加者間で協議し、以下のアクションを実施

-  ① デジタル活用や製品、サービスを組み合わせた新たな豊かな暮らしのパッケージ提案、機会・場の創出など消費者への効果的な訴求に向けた連携
-  ② 各主体の取組で得られた知見・経験・教訓の共有とベストプラクティスの横展開（グリーンライフポイント事業等）
-  ③ 政府施策への提案・要望（環境省普及啓発予算の具体的な使い道・アイデア等）

※ポータルサイト（<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>）からお気軽にご参画いただけます。

# デコ活応援団の位置付け・機能

- デコ活の中での協議会の位置付け  
= 国×企業×自治体×団体×消費者の連携・実践の場 & 最新情報・意見の共有・交換の機会
- プロジェクト提案・実施、施策への意見・要望、参画主体間のつなぎ・照会等をサポート  
➡ みなさまが“やりたいこと”を実現する場として、デコ活応援団をフルスイングでご活用ください！

## デコ活応援団の機能

- 参画主体のみなさまの提案を踏まえた連携・マッチング
- デコ活補助金によるリスクマネー提供(マッチングファンド方式)  
※システム経費・人件費・PR経費など
- 国際会議等でのグローバルな発信・PRの機会の確保など

1,204主体  
(304自治体、614企業、  
237団体、49個人)  
令和6年3月26日時点

10年後の絵姿



## 個々の取組、製品・サービス等の発信・PRなど

デジタルも駆使して、多様な 快適な働き方、暮らし方を 後押し。(テレワーク、地方移住、 ワーケーションなど)	脱炭素につながる新たな暮らし を支える製品・サービスを 提供・提案
1	2
3	4
インセンティブや効果的な 情報発信(気づき、ナッジ)を 通じた行動変容の後押し (消費者からの発信も含め)	地域独自の(気候、文化等 に応じた)暮らし方の提案、 支援

ポータル登録数:398件  
(デジタル関係:39件、製品・サ  
ービス:197件、インセンティブ:  
127件、地域:35件 ※重複有)  
令和6年3月26日時点

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

2050年カーボンニュートラル及び2035年温暖化目標の実現に向けて、国民・消費者の  
行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動を推進します！  
国民生活につながる様々な暮らしのアイデア・提案を、ご紹介することにより、国・自治体・  
企業・団体等と共に、国民・消費者の新しい暮らしを実現します。

提案・取組を登録しよう  
脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る提案・取組を登録し、  
国民・消費者の新しい暮らしを後押ししましょう

登録はこちらから(Google フォームが開きます)

# デコ活応援団におけるスモールグループの運用・テーマ設定

- デコ活応援団内で個別テーマに係るスモールグループを運用し、積極的な議論を行う場を設定しています。
- スモールグループへの参加の希望や新規テーマ設定についても常時、受け付けています。

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
①住宅	127	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者にとってストック（既存住宅）の省エネ化の優先度を向上させる取組方法の策定</li> <li>断熱における課題の特定と、消費者の関心を高める効果的な訴求方法の検討</li> </ul>
②インセンティブ/ポイント	139	<ul style="list-style-type: none"> <li>インセンティブを用いた脱炭素の啓発方法検討</li> </ul>
③モビリティ	99	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーがエコドライブ等の取組を自発的、もしくは能動的に実施可能な仕組みの形成方法検討</li> </ul>
④食	95	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業間連携により、自律分散型の地産地消を実現できる具体手段の検討</li> <li>食の生産、物流の中で、最も脱炭素へのインパクトが大きい分野の特定</li> </ul>
⑤宅配/通販	67	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコドライブの訴求方法検討</li> <li>利用者の利便性と環境への配慮の判断軸の策定</li> </ul>
⑥サステナブルファッション	73	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の衣服リサイクルへの意識を向上させる訴求手段・方法の検討</li> </ul>
⑦教育	110	<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員へ向けた学習環境の整備方法の検討</li> <li>子供が自分ごととして行動できる教育方法の策定</li> </ul>
⑧GHG見える化	151	<ul style="list-style-type: none"> <li>見える化から、行動変容に繋がる仕組みの策定</li> </ul>

テーマ	人数	議論中の論点・これまでのご意見
⑨プラスチック	93	<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクルの原料収集、原料の選別等の、リサイクルの各工程における課題の特定</li> <li>上記を解決する技術・運用方法の共有・策定</li> <li>マイボトル等の、消費者を巻き込んだプラスチック削減方法の策定と、課題の特定</li> </ul>
⑩意識啓発	142	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネに対するネガティブイメージを払拭するための対応方針策定</li> <li>知識の蓄積のみならず、環境問題を自分ごととして捉え、行動を促すための啓発方法の策定</li> <li>脱炭素を啓発する適切なターゲットの選定</li> </ul>
⑪ワーケーション	55	<ul style="list-style-type: none"> <li>再エネ活用に向けた実証実験とワーケーションを融合した取組事例の共有</li> <li>地域住民との効果的な連携方法の策定</li> </ul>
⑫生物多様性	89	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物多様性の数値化、計算方法の検討</li> <li>企業の生物多様性保全に向けた行動指針策定</li> </ul>
⑬廃棄物	98	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物のリサイクルにおける課題・原因の特定 ⇒全国規模の一斉回収が難しい ⇒コストが高い（特に複合素材のリサイクル） ⇒運輸時にCO2が排出される</li> </ul>
⑭若者	56	<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者の環境配慮型商品への購買意欲を向上させる取組方法の検討 ⇒企業間イベント、インセンティブ付与の検討</li> </ul>

# 「デコ活宣言」・「#デコ活」での発信

- デコ活推進のため、組織（企業・自治体・団体）、個人単位で「デコ活宣言」を呼びかけています。
- また、日々のデコ活の取組を「#デコ活」としてSNS等で発信し、広めていただくこともお願いしています。
- SNS上で発信された「#デコ活」については、環境省SNS等でも情報発信します。

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/join.html>

- 「デコ活宣言」を実施いただくことで、ダウンロードツール等をご利用いただくことができます。

## デコ活宣言（例）

### 日本経済団体連合会

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！

宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

経済界は、カーボンニュートラル型の製品・サービスの開発・社会実装を通じ、「経済と環境の好循環」を創出しながら、「グリーン・トランスフォーメーション(GX)」の実現を目指します。  
 加えて、テレワークやデジタル化の推進により新たなワークスタイルの普及に取り組むなど、他のステークホルダーとともにデコ活を推進してまいります。

### 東京都

宣言①：製品、サービス、取組展開を通じてデコ活を後押しします！

宣言②：生活・仕事の中で、デコ活を実践します！

- ・デコ活やHTTをキーワードに、脱炭素につながる支援策や各種制度を強力に推進していきます
- ・都有施設への太陽光パネル設置など、都の率先行動を強力に推進していきます



1,977主体  
 環境省として宣言したほか、企業・自治体・団体・個人が宣言  
 令和6年3月26日時点

## #デコ活（発信例）

Kwccca 川崎市地球温暖化防止活動推... 1日 ...  
 『Green carb0n-club』アプリ 📱 は活用してますか？  
 エコアクションやアンケートに答えてGreenポイントを貯めて、川崎市内のお店や事業者さんでポイント交換！

あなたのエコな行動で、  
 コロコロ地球もジモトにもやさしい💚💚  
[carb0n-club.com](http://carb0n-club.com)  
 #エコ #川崎市 #脱炭素 #デコ活 #エシカル



伊勢崎市 @isesakicity\_lg 1日 ...  
 伊勢崎市は、地球温暖化防止のための新しい国民運動「デコ活」に取り組むことを宣言しました。  
 #伊勢崎市 #環境政策課 #地球温暖化 #デコ活  
[city.isesaki.lg.jp/soshiki/kankyo...](http://city.isesaki.lg.jp/soshiki/kankyo...)



長野市地球温暖化防止活動推進セン... 1時間 ...  
 今年の夏はとんでもなく暑かった。  
 #地球温暖化 はどどん進んでいる！

そこで #脱炭素 につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「#デコ活」がスタートしています

一人一人の日常の取組が地球を変える大きな力になるので皆さんも参加しよう！





- ポータルサイト (<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>) において、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを支える取組、製品・サービス」の登録を広く受け付けています。
- 登録いただいたものは、ポータルサイトやSNS等で発信・PRします。



### 1 テレワークなどの働き方、暮らし方での後押し

デジタルも駆使して、多様で快適な働き方、暮らし方を後押し(テレワーク、地方移住、ワーケーションなど)

<p><b>GREEN WORK STYLEの推進</b> 東急不動産ホールディングス株式会社</p>	<p><b>富士通の新しい働き方</b> 富士通株式会社</p>	<p><b>未来へつなぐ持続可能なまち かにみしほる</b> 北海道土士幌町</p>	<p><b>merit TUDI</b> テレワークを最大限活用 Steamer lane studio</p>
---------------------------------------------------------	--------------------------------------	------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------

一覧を見る →

### 3 インセンティブや情報発信を通じた行動変容の後押し

インセンティブや効果的な情報発信(気づき、ナッジ)を通じた行動変容の後押し(消費者からの発信も含め)

<p><b>OFF &amp; GO アクション</b> 東急沿線お出かけ節電プロジェクト「OFF &amp; ...」 東急株式会社</p>	<p><b>脱炭素が学べる謎解き宝探しゲームの開催</b> 相模原市</p>	<p><b>理容業の脱炭素・脱プラスチックの取り組み</b> 全日本理容生活衛生同業組合連合会</p>	<p><b>coki</b> 脱炭素経営やESG各種PR支援・情報発信 株式会社Sacco</p>
---------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------	---------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------

一覧を見る →

### 2 豊かな暮らしを支える製品・サービスで後押し

脱炭素につながる新たな暮らしを支える製品・サービスを提供・提案

<p><b>「SECOND HAND (セカハン)」で中古...</b> 株式会社キア</p>	<p><b>データ収集によるサステナビリティ活動支援</b> 富士通Japan株式会社</p>	<p><b>E&amp;Qマーク付リサイクルトナーでCO2排出...</b> 一般社団法人日本カートリッジリサイクル工業会(AJCR)</p>	<p><b>プラスチックボトル・運搬不要な水道水浄水...</b> ウォータースタンド株式会社</p>
-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

一覧を見る →

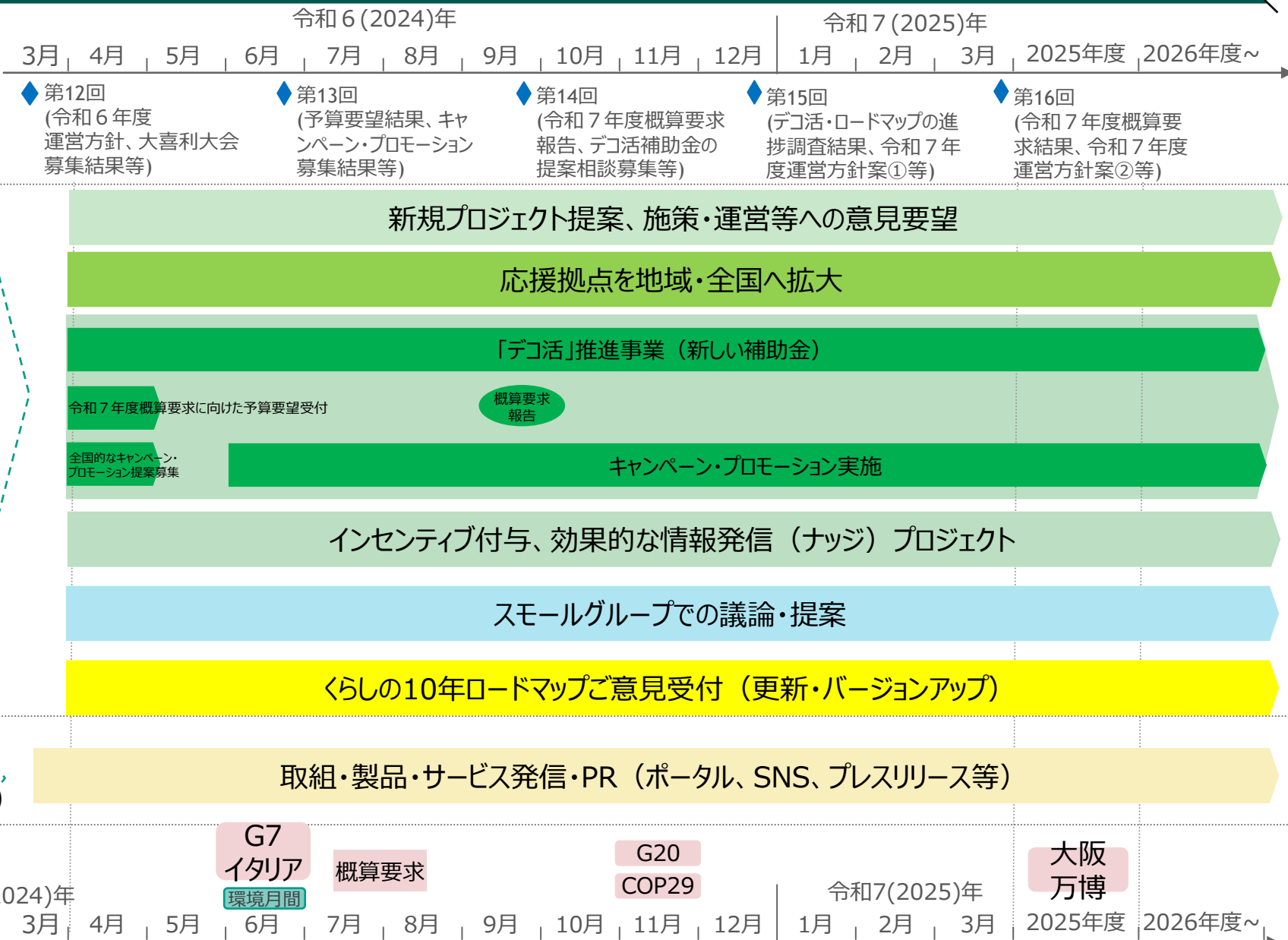
### 4 地域独自の暮らし方での後押し

地域独自の(気候、文化等に応じた)暮らし方の提案、支援

<p><b>せんだいE-Action</b> せんだいE-Action実行委員会</p>	<p><b>富山県地産地消キャンペーン</b> 富山県</p>	<p><b>陸上輸送、海上運送におけるCo2削減</b> ユニ・チャーム株式会社</p>	<p><b>「かながわ脱炭素ビジョン2050」を作成</b> 神奈川県</p>
--------------------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------------------	---------------------------------------------

一覧を見る →

# 2024年以降のタイムライン



デコ活応援団

意見・  
提案・  
調整

デコ活  
全般

イベント

# 【参考】「新しい豊かな暮らし」に向けた個別アクションの事例

○ 「ファッション」・「住まい」・「デジタルワーク」で新しい豊かな暮らしを提案します。

1



若者含めた全世代が働きやすい服装を選べる“**オフィス服装改革**”を呼びかけます。



【ファッション】

業界の皆様と連携し、**サステナブルファッション**を浸透させます。

2



快適で健康な暮らしにもつながる**住宅の断熱リフォーム**促進キャンペーンを展開します。

【住まい】

3



**テレワークの率先垂範** を実行します。



【デジタルワーク】

**国立公園のデジタル化**（ワーケーション・インバウンド対応）と民間・自治体と連携した積極誘致を促進します。

# 【事例①】クールビズ×サステナブルファッション・熱中症予防

- 令和5年5月より①「クールビズ×サステナブルファッション」、②「熱中症予防キャンペーン」を展開しています。
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業・地域の旗振り役となる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って参画をお願いします。

## ①クールビズ×サステナブルファッション

- クールビズに、衣類のリサイクル、アップサイクル等、一つの衣服を長く活用するサステナブルファッションを併せ、新たな夏の装い創出につなげます。
  - クールビズ（軽装励行）を超えた、TPOに応じた服装の自由化につなげます。
  - サステナブルファッションの浸透促進により、大量生産・大量消費型から廃棄を少なくする循環型への移行を推進します。



## ②熱中症予防

- 夏場から秋口の熱中症増加に備え、広く熱中症予防の必要性と重要性を呼びかけます。
- 熱中症予防につながる「機会・場」や「製品・サービス」のご提案をお願いします。



「新しい豊かな暮らし」における暑い時期の過ごし方を是非ご提案ください！



# 【事例②】住宅省エネ対策（断熱リフォーム）の推進

- 家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上や高効率給湯器の導入等の住宅省エネ化を支援します。
- 昨年に引き続き本キャンペーンへのご協力をお願いします。

## 住宅の省エネリフォームへの支援の強化

令和5年度補正予算等	
断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業（環境省）	1,350億円（R5補正）
高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金支援事業（経済産業省）	500億円（R5補正）
既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業（経済産業省）	185億円（R5補正）
子育てエコホーム支援事業（国土交通省）	2,100億円+400億円（新築・リフォームの合計）（R5補正+R6当初案）

### 目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する改修や高効率給湯器の導入などの住宅省エネ化への支援を強化する必要。

➡ 国土交通省、経済産業省及び環境省は、住宅の省エネリフォームを支援する補助制度について、3省の連携により、各事業をワンストップで利用可能（併用可）とする。

### 対象

	工事内容	補助対象	補助額
①省エネ改修	1) 高断熱窓の設置※1,4 <b>先進的窓リノバ2024事業</b>	高性能の断熱窓（熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの）	リフォーム工事内容に応じて定める額（補助率1/2相当等） 上限200万円/戸
	2) 給湯器※2,4 <b>高効率給湯器の設置</b> <b>給湯省エネ2024事業</b> 既存賃貸集合住宅における <b>エコジョーズ等取替</b> <b>賃貸集合給湯省エネ2024事業</b>	高効率給湯器 (a)ヒートポンプ給湯機、(b)ハイブリッド給湯機、(c)家庭用燃料電池 エコジョーズ/エコフィール* *従来型給湯器からの取替に限る *補助対象は賃貸集合住宅に設置する場合に限る	定額（下記は主な補助額） (a)10万円、(b)13万、(c)20万円  追焚機能無し：5万円 追焚機能有り：7万円
	3) 開口部・躯体等の省エネ改修工事※3,4 <b>子育てエコホーム支援事業</b>	開口部・躯体等の一定の断熱改修、エコ住宅設備（節湯水栓、高断熱浴槽等）の設置	リフォーム工事内容に応じて定める額 ・子育て世帯・若者夫婦世帯：上限30万円/戸 ・その他の世帯：上限20万円/戸
②その他のリフォーム工事※3,4 (①①)～③)のいずれかの工事を行った場合に限る	住宅の子育て対応改修、バリアフリー改修、空気清浄機能・換気機能付きエアコン設置工事等	※長期優良リフォームを行う場合は、 ・子育て世帯・若者夫婦世帯：上限45万円/戸 ・その他の世帯：上限30万円/戸 ※子育て世帯・若者夫婦世帯が既存住宅購入を伴う場合は、上限60万円/戸	

※1 断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO2加速化支援事業（環境省）による支援（令和5年度補正予算）  
 ※2 高効率給湯器の導入を促進する「家庭部門の省エネルギー推進事業費補助金」（経済産業省）及び既存賃貸集合住宅の省エネ化支援事業（経済産業省）による支援（令和5年度補正予算）  
 ※3 子育てエコホーム支援事業（国土交通省）による支援（令和5年度補正予算、令和5年当初予算案）  
 ※4 ①1）、③）については、経済対策閣議決定日（令和5年11月2日）以降にリフォーム工事に着手したものを、②1）については、経済対策閣議決定日（令和5年11月2日）以降に対象工事に着手したものに限り（いずれの場合にも、交付申請までに事業者登録が必要）。

# 【事例③】スイッチを消してお出かけ省エネ・節電キャンペーン

- 「スイッチを消してお出かけ省エネ・節電キャンペーン」を推進中です。
- 「実践・体験の場」や「製品・サービス」をお持ちの企業・地域の旗振り役となる自治体・団体をはじめ、本キャンペーンに賛同・連携いただける方を募りますので、奮って参画をお願いします。

## 「スイッチを消してお出かけ省エネ・節電」とは

- 家庭の冷暖房・照明を切って、まちに出てお店で買い物や食事等をするすることで、楽しみながら、エネルギー消費を減らすことができます。

## 事例紹介：東急（株）が実施する「東急沿線お出かけ節電プロジェクト「OFF&GO」アクション」

省エネと今冬の節電を楽しい取組とするため、東急グループの商業施設145店舗で使えるクーポンを提供して、家の電気をOFF→お出かけへGOを提案します。

令和5年1月には、渋谷ヒカリエでの取組を西村環境大臣(当時)が視察しました。





デコ活応援団事務局  
ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)

E-mail : [Decarbonized@bcg.com](mailto:Decarbonized@bcg.com)

TEL : 03-6387-7198(直通)※9:30~17:30 土日祝除く



環境省 地球環境局 デコ活応援隊(脱炭素ライフスタイル推進室)

[隊長(室長)] 島田

[担当] 井上、飯田、稲谷、金井、郡司、中村、中山

住所 : 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2

E-mail : [decokatsu@env.go.jp](mailto:decokatsu@env.go.jp)

TEL : 03-5521-8341(直通)